

北陸農政局長賞受賞

〇^{よこやましんこうかい}横山振興会（石川県珠洲市）

能登半島の先端に位置し、三方を海に囲まれ、自然環境に恵まれている横山地区では、「横山振興会」が中心となり地域おこしに向けての題材を模索していたところ、「大浜大豆」に出会った。この大豆は、昭和40年代の初めまでは能登地方では多く栽培されていたが、収穫時期が遅く栽培に適さないことから次第に作られなくなり、「幻の大豆」とも言われていたが、横山振興会では、地域の伝統食の見直しをテーマに活動するとの方針の下、平成16年から「幻の大豆」復活に向けて取組を始め、イベント等において大浜大豆を使用した豆腐等の加工品が好評となり、その後、本格的に栽培を開始した。

横山振興会では、この大豆を地域おこしの起爆剤としてとらえ、県・市の支援を受けて、生産拡大、加工品開発、販売先の確保等の取組に積極的に参画した結果、現在では、大浜大豆を使用した豆腐や商品を買求める来訪者が多くみられ、「道の駅・狼煙（のろし）」では、大浜大豆を使用した商品が主力となっている。このことは地域住民において地域おこしへの意識を高め、イベントなど地区内で行われる行事についても全員参加型の取組に発展してきた。

このように、地域おこしに向けて地元の伝統農産物であった「大浜大豆」を復活させ、地域住民と連携して活性化に向け進めてきた取組は顕著な成果が表れている。



大浜大豆の畑



大浜大豆を使用した納豆



「道の駅」おからドーナツ



そば試食会



大学との農作業連携



豆腐メニューの給食